

出向く！ 営農レポート



北部営農センター
服部 大地



訪問日：5月13日

ピーマンの害虫対策



アブラムシ

コナジラミ

コルト顆粒水和剤の特徴

- ◎高い即効性があり、葉裏の虫までしっかり効く
- ◎ネオニコチノイド系、合成ピレスロイド系などとは作用が異なるため、ローテーション散布※の1剤として最適
- ◎ピーマンだけでなく、トマト、ミニトマト、ナス、オクラ、キュウリ、ネギ、豆類、トウガラシ類等にも使用可能で、多品種栽培を行なっている方にオススメ

※種類（作用性）の異なる複数の薬剤を交互に使用する防除方法。
同じ種類の農薬を使用し続けていると効きにくくなることもあるため行う。

ピーマンの害虫は少なく、被害も初期段階でしたが、これらの害虫は放置すると、モザイク病などのウイルス病の媒介や吸汁被害による葉の黄化、育成不良、さらに排泄物に繁殖したカビが原因ですす病などの深刻な被害につながる恐れがあります。そのため、被害の拡大を防ぐよう早期の対策を指導しました。

これからも長久手グリーンセンターへたくさん農産物を出荷できるよう、出向く営農活動を続けていきます。

長久手市で農業を営む株式会社タスクファームの圃場に訪問しました。同社は3ヘクタール以上の圃場を耕作しており、長久手グリーンセンターをはじめ、大手スーパーへも出荷しています。

今回、夏野菜の生育状況を確認したところ、定植直後のピーマン圃場でアブラムシとコナジラミを確認したため、両方の害虫に有効な「コルト顆粒水和剤」を提案しました。

ピーマンのアブラムシ・コナジラミ対策



コルト顆粒水和剤

- 希釈倍数：4,000倍
- 使用量：100～300L/10a
- 使用時期：収穫前日まで
- 使用回数：2回以内

<コルト顆粒水和剤の適用害虫>

- アブラムシ類
- コナジラミ類
- カイガラムシ類
- ネギアサミウマ
- ネギハモグリバエ
- チャノキイロアザミウマ

など